

# 代表・一般質問(要旨)



本会議の録画映像を  
区議会ホームページでご覧いただけます。  
<https://www.gikai-adachi.jp>

# 区政を

地域内交通導入サポート制度の状況を検証し、今後の区の公共交通の在り方を判断していく。

### 平等な交通環境を整えるために

【問】地域内交通導入サポート制度の利用料は足タク500円、チョイソコ200円の予定であり、利用料に格差が生じてしまう。区は、地域の個人・事業者からの出資を予定しているが、交通網整備のための基金を創設し、将来的にどの地域の事業においても利用料を平準化すべきではないか。

【交通対策】利便性の異なる交通手段の利用料平準化や基金の創設は考えていないが、今後、財政負担の増加も予想されるため、寄附等により地域交通を支えていけるよう、関係部署と連携しながら検討していく。

### 新たな交通手段の利便性向上を

【問】常東地区で計画されている

## 足立区議会公明党

### 更なる防犯・災害対策を！

### 障がい者の活躍へ支援を！

公明党 小泉 ひろし 議員

### 物価高騰から区民の生活を守れ

【問】政府は、総合経済対策において物価高騰対策を最優先とし、ガソリンや電気・ガス料金への支援を検討している。区も以前実施したような、国の臨時特別給付金対象外の世帯所得200万円以下である世帯を対象とした給付を考えているのか伺う。

【福祉】区としては、国の施策を注視しつつ、特に支援が必要な低所得世帯への施策について検討していく。

るデマンド交通「チョイソコ」の実証実験は、予約方法がアプリと電話のみとなっている。アプリを使用できない場合でも利用できるよう、地域の商店やコンビニ等に協力を依頼し、端末を設置することは可能か伺う。

【交通対策】端末設置は初期費用や維持費用が掛かることから実証実験当初からの設置は困難だが、利用者が多い施設への設置は有効であると考えており、端末導入の経費や利用件数等を見定めながら検討していく。



的として研修費補助金の対象範囲や補助上限額の拡充等を図り、区内中小企業を支援していく。

### 強盗や詐欺から高齢者を守れ

【問】昨今、特殊詐欺や強盗傷害等の事件が多発しており、高齢者から不安の声が多くある。区は、区内4警察署と共同選定した個人向け防犯設備の設置及び物品購入等に対する補助制度を実施しており、対象製品を48種に拡大したが、令和6年10月に終了した。区民の安全・安心のため、今後も当該事業を継続実施すべきではないか。

【危機管理】申請状況や刑法犯認知件数、体感治安の変化等を総合的に分析し、事業の見直しを図りつつ、令和7年度以降も実施する方向で検討する。

### パラスポーツの更なる発展へ

【問】区は障がい者スポーツ推進のため、用具購入や施設使用料等を対象にした障がい者スポーツ活動助成金を交付しているが、実施期間が3年の計画である。今後も当該制度の期間を限定せず継続すべきではないか。



### 事業者支援で区内経済活性化を

【問】人手不足や人材の定着・育成に苦慮する中小事業者へ支援を拡充すべきではないか。

【産業経済】人手不足に関しては、令和6年度より開始した中小企業人材採用支援助成金について補助率や人材紹介費用の補助上限額の拡充を検討していく。人材の定着・育成に関する支援については、専門相談員によるコンサルティング支援対象企業数の増や、資格取得促進を目

キルアップによる仕事の紹介や技術指導を障がい者が受けることができれば就労意欲の向上にもつながるため、今後は実績のある民間事業者のノウハウも活用しながら在宅で対応できる業務の創出やメリット等を企業にも周知し、協力を呼び掛けるべきと思うがどうか。

【福祉】障がい特性によっては孤立感や自主管理の困難さ等の課題があるため、公益財団法人東京しごと財団の取り組みや在宅勤務の事例・実例を研究しながら、区としての取り組みを検討していく。

また、在宅就労に向けたパソコンの活用は、民間事業所や在宅就労支援団体が多くのノウハウを持っているため、求職者の適正を把握し、こうした団体を活用しながら必要な支援につなぐことでスキルアップが図られるよう取り組んでいく。

### ごみ減量で環境負荷の軽減を

【問】区は、生ごみの削減を目指すし、燃やすごみの量やコストの削減につながる生ごみ処理機及びコンポスト化容器の購入費補助制度を実施している。反響が大きく申請数も多い当該事業は、補助上限額を増額した上で、令和7年度も継続実施すべきと思うがどうか。

【環境】生ごみ処理機はごみの減量に有効であることから、令和7年度も補助事業を継続したいと考えている。

また、補助上限額の増額について、令和7年度の当初予算編成の中で検討していく。



### 子どもの未来に向けた支援を

【問】学用品等の支払いに困難

### 西部地域の諸課題に対し、

### 地域住民の声を反映せよ

公明党 たがた直昭 議員

### 安心・安全な跡地活用に向けて

【問】旧鹿浜西小学校跡地に開業予定の商業施設から車両が出発する際は、少しでも生活道路に流入しないよう、動線確保と歩行者の安全確保が必要である。

鹿浜いきいき館入口付近から環状七号線方面に向かう道路は、施設開業後に交通量の増加が見込まれるため、子どもの安全を心配する声があり、鹿浜いきいき館側だけでなく反対側にもガードレールを設置し、歩行者の安全確保を検討すべきではないか。

【道路公園】区と警察でガードレール等の追加設置や速度抑制対策として視覚的な狭さく、路面標示による注意喚起等、あらゆる安全対策を協議している。これらを商業施設開業までの道路整備に盛り込んでいく。

【問】入谷・鹿浜地区で実証実験中の「足タク」において、区は利用者のニーズに添えていく

を抱える世帯に対して費用の一部を支援する就学援助の認定基準額の算定倍率を、令和7年度当初から生活保護基準の1.3倍に改定し、就学援助対象者を拡大すべきと強く要望するがどうか。



【教育長】他区の状況を踏まえ、当区でも1.3倍に引き上げる検討を行い、就学援助の対象者拡大に向け、令和7年度当初予算に約4千万円の増額を盛り込む方向で準備を進めている。

【交通対策】現在、若者は妊婦や障がいのある人のみを割引対象にしているが、本格運行に移行する際は中学生以下が同乗した場合、一般登録者の保護者も割引運賃を適用する等、子育て世代を中心に利用しやすい制度への見直しを検討していく。



【問】オウム真理教の教団組織は、未だ全国で信者を勧誘し、